職場だより

**岐阜県教職員組合 情報**

発行

.

.

**部活動手当改悪反対の県教委交渉**

**再交渉は２月７日！**

部活動手当を改悪\*する県教委からの提案に反対する署名へのご協力、ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　\*4時間以上3,600円をなくし3時間以上2,700円に

１月30日に行った県教委との交渉では、それまでに届いた1,898筆を教職員課長に手渡しました。この後も署名は届けられ、10日間で1,926筆を集約しました。これは、県下の教職員の**10人に１人が署名**したことになります。

交渉では、寄せられたメッセージとともに４時間手当の維持を訴えました。交渉の最後に「『働き方改革』には反対していない」「『部活動の改革』も必要だと考えている」「３時間の手当を設けることにも反対はしていない」「しかし，部活動の時間が３時間になっていない、３時間にできない実態がある」「労働の対価を支払うべきである」として、「今回の提案は拒否する」「現場でがんばっている教職員の努力に報いる、モチベーションが下がらない再提案を求める」と主張しました。県は，「皆さんの意見をお聞きした。改めて交渉する」と返答しました。

そして、第２回県教委交渉の日は２月７日16時からとなりました。

**再交渉に向けて，さらに署名を上積みしましょう**

**前回署名されていない方は，ぜひご協力ください**

**（署名用紙か、ＱＲコードからもできます）　　 2/7 14時まで受け付けます**

|  |
| --- |
| 1月30日の交渉内容（抜粋） |

県：県としては，「働き方改革の推進」と「部活動のガイドライン」をすすめる意味で提案をおこなった。

**組**：現場は生徒に事故やけががない事を最優先に活動している。そのために準備や片付けを入れると、教員の拘束時間は３時間では終わらない。

**組**：外部の活動には移動時間もかかる。

**組**：中体連・高体連以外の試合も、練習試合もある。絶対に3時間では終わらない。

**組**：手当の上限が３時間だから，部活動も３時間にということか。保護者や生徒に「手当が減るから時間を短くする」とは言えない。

**組**：教員の気持ちが分かっていない。これまでも家庭を犠牲にしてきた。そもそも、手当が１時間900円では安すぎる。やっと手当が上がってきたのに、今度は下げるのか。

**組**：現場では特に頑張ってきた人ほど感情的に頭にきている。モチベーションを下げる。

**組**：教員の一存では部活動時間を減らせない。高校では部活がしたくて入学してくる生徒，部活の実績で進学する者もいる。

県：県としては効率的な練習を周知していきたい。

**組**：周知だけで活動時間が減るとは思えない。部活動指導員の来年度予算も増えていない。

**組**：周知して現場が変わるのに時間がかかる。活動時間が減っていないのに手当だけ減らすのはおかしい。労働の対価が払われないことになる。

**組**：公式戦以外の練習試合などに７～８時間費やしても３時間分の手当というのは全く同意できない。競技団体、高体連、中体連などと調整が進んでからやればよい。